

平成 22 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	24	ごみを減らす生活を送る	評価責任者 (基本施策主管課長)	清掃事業課長 馬場 幸雄
-------	----	-------------	---------------------	-----------------

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標	意図
	政 策	環境への取り組みが進むまちづくり
①	市民意識調査結果	<p>②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果</p> <p>ごみを減らすことへの意識は高く、ごみを減らすことへの必要度は認識されている。満足度は、普通である以上が57.4%と高い傾向にある。指定ごみ袋の有料化は、ごみ減量を図っている。資源ごみの分別も効果を表している。資源再利用回収奨励金交付事業は、実施団体の意識が高い。</p>
③	基本施策の現状と課題	指定ごみ袋の有料化は、可燃ごみの減量を図っている。資源再利用物の回収奨励金交付事業(古紙・古布類の集団回収事業)は、予算を上回る交付申請があり、事業継続するには、交付金の見直し(単価、上限設定)を行う必要がある。資源ごみの分別徹底によりリサイクルに努める。生ごみ処理容器購入費補助金事業を進め生ごみの減量を図る。
④	基本施策の意図、今後の展望	資源循環型形成社会を推進するため 容器包装プラスチックほか、資源化ごみのリサイクルを一層進める。資源再利用物の回収奨励金交付事業について、交付金の見直しについて一定の方向を定める。家庭系の生ごみを減量させるため生ごみ処理容器購入費補助金事業を進める。

⑥基本施策構成事務事業の評価

	基本施策を構成する事務事業名			改善余地の有無	事業費(人件費込、単位:千円)			重点化
	担当課	ID	事業名		H21 決算額	H22 予算額	H23 所要額	
1	人権生活環境部 清掃事業課	169	一般廃棄物減量等推進事業		47,445	61,104	58,375	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
(以下 続紙)								
事業費 合計					47,445	61,104	58,375	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	平成21年度までの可燃ごみの搬入量は目標値を達成しているが、今後、可燃ごみが増加しないようにごみ分別に関する啓発を続ける。
2 事業構成の適当性(手段として最適か?)	資源再利用物回収奨励金交付金事業の成熟度が高く、交付額が予算を上回ってきているので、一定の見直しをする必要がある。
3 役割分担の妥当性	住民自治協議会をはじめとする地域の団体と連携して、ごみ分別の徹底を進める。
4 総合評価(今後の展開、事業の見直し等)	資源再利用物回収奨励金交付事業は成熟しているため、交付金の支給方法についての見直しを行い、平成25年度までに一定の方向を定めたい。資源ごみの回収に努め資源循環型形成社会を推進する。

⑤基本施策指標の検討・設定

現状の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる基本施策指標候補	重点化
可燃ごみの減量推進	可燃性ごみの搬入量の減少	1
紙・布類の回収推進	実施団体の回収量及び回収回数	3
生ごみの資源化	生ごみ処理容器購入補助金交付件数	2

基本施策指標名	単位	過年度実績		評価年度	目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H20	H21		H22	H25	H30		
1 可燃ごみ搬入量	目標	t	22923	21164	20952	19720		可燃ごみの年間搬入量	
	実績	t	20881	20055					
	達成率	%	91.1	94.8					
2 生ごみ処理機交付件数	目標	件	118	103	82	103	110	交付件数	
	実績	件	93	75					
	達成率	%	78.8	72.8					
3 資源再利用回収奨励金交付件数	目標	件	129	132	170	170	170	交付件数	
	実績	件	154	164					
	達成率	%	119.4	124.2					
	目標								
	実績								
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!					